

ふくらむ

2024年 秋号 No.46

発行所 高知ハビリテーリングセンター 印刷科

～二度と戻らない時間のために～



私の家族は皆が別々の場所で暮らし、すぐには会えない場所で生活をしています。それ故、週に一度のビデオ会議と、年に一度の家族集合（楽しみながら情報を交換すること）が恒例となっています。家族会議の結果、今年の集合場所は兄の住む沖縄に決定し、梅雨が明けるのを待って集まれる家族だけで集合しました。今回は沖縄から石垣島へ渡り、石垣島を拠点に大小の島めぐりを企画。美しい海と空の蒼さ、そしてブーゲンビリアとハイビスカスが咲き乱れ、まさに楽園そのものでした。ダイビングにも初挑戦しましたが耳ぬきと口呼吸がうまくできず1mしか潜水できず…ダイビング上級者の兄は海底のサンゴやウミガメと写真を撮っていたのでとても悔しかったです。私にとっては大海への大きな一沈となりました。石垣島の数日間は家族とのかけがえのない思い出となり、本来の目的である情報交換もばっちりできました。

私が最近感じていること、それは“またの機会に”ではなく“機会をつくるもの”だということです。家族とのビデオ会議が始まったのは母が一人暮らしを始めたことがきっかけだったのですが、実はそれまでの約20年間、互いに疎遠となり元気なのかそうでないのかも不明で集まるのは結婚式などがあつた時のみでした。ビデオ会議を開始して2年になりますが物理的な距離は遠いものの家族を近くに感じ、末っ子である私はこの年でも家族に甘えることができる大切な時間となっています。毎週この時間を確保するには家族の協力と根気が必要なのですが『今この機会を逃したら二度と戻ってこない』ことを考えるとその時間を確保しないという選択肢は私にはありません。来年の集合場所は家族皆の故郷である岐阜県、新穂高への登山を予定しています。まだまだ先のことですがとても楽しみにしています。



しごと・生活サポートセンター
ウェーブ
センター長 沼 慶子



社会福祉法人 ファミリー高知



- 高知ハビリテーリングセンター
〒781-0313 高知市春野町内ノ谷 63 番地 6
Tel (088) 842-1921 Fax (088) 842-2601
- ◇障害者支援施設
 - ・施設入所支援事業
 - ・短期入所支援事業（空床型/併設型）
 - ・自立訓練事業（機能訓練/生活訓練）
 - ・生活介護事業
- ◇アルパーテ
 - ・就労継続支援B型事業
 - ・就労移行支援事業
 - ・就労定着支援事業
- ◇はるのハビリホーム
〒781-0313 高知市春野町内ノ谷23番地1
・共同生活援助事業



- しごと・生活サポートセンター ウェーブ
〒780-0056 高知県高知市北本町1丁目 8-7
Tel (088) 820-1221 Fax (088) 820-1223
- ◇就労継続支援A型事業「オウンパス」
- ◇就労継続支援B型事業「スウェル」
- ◇特定相談支援事業
- 法人本部
〒781-0313 高知市春野町内ノ谷 63 番地 6
Tel (088) 842-1921 Fax (088) 842-5010

第4回 支援の可視化プロジェクト 成果発表会 in 近森病院

第4回成果発表会を6月8日近森病院会議室にて開催。今年のテーマは「福祉のチカラ・連携のチカラ」に決定。1年間の思いの詰まった成果を各部署がとりまとめ、いろんな成果のアイデアをパワーポイントに作り込みました。どの部署の発表も職員側の思いと、利用者側の思い、それぞれに寄り添った苦労と成果が感じられる内容のものばかりでした。当日は発表することに緊張している職員もいましたし、またコンピで息のあった発表をする部署もみられ、各部署の力が入った取り組みと成果が存分に感じられる内容ばかりだったなぁと私は感じました。教育委員として、会場の下見・来賓者の紹介状作成、出欠確認、当日配布資料原稿の作成・注文など数ヶ月前から準備に取り掛かり、何度も入念なチェックと確認を行ったにもかかわらず、当日の音響トラブルと機材トラブル発生。皆さまには大変ご迷惑をお掛けしました。皆さんの協力で

無事、第4回成果発表会を終えることができました。質疑応答は、さらに職員の意欲も感じ、最後に来賓の皆様にあいさすいただくことで、ウェブ・ハビリでの支援内容が発表を通して、より理解していただけたと実感でき、職員一同の頑張りと成果が、やりがいと達成感となり、さらに今後のチカラに変わったと私は実感しました。

教育委員会 笠松早由



自分探しの旅

今回、大分は別府市にあります“社会法人 太陽の家”の事業見学を利用者さんとさせていただく機会をいただきました。別府市までの移動は、フェリーも含め、片道約6時間、1泊の長旅でした。見学同行をさせていただいた利用者さんは、特別支援学校を卒業された脳性麻痺の車椅子の方です。大分県は、福祉就労や障害者スポーツに力を入れていると聞き、今後の取り組みや社会化見学として、学びの機会となりました。利用者さんからは、「やりたい事をひとつひとつ考える機会となった」と話されていました。その後、岡山県にある“吉備高原職業リハビリテーションセンター”にも見学させていただいています。将来について、共に考える時間をハビリも学ばせていただいています。

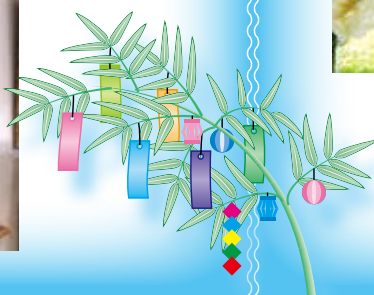
生活・訓練部 田村亨介



短冊に願いをこめて！

今年は七夕イベントを生活訓練が担当しました。

イベント食は、うなぎ丼とシーフードナポリタンから選んで頂き、デザートにはアイスの提供を行いました。七夕イベントで季節を感じることができたと思います。各事業の利用者に書いて頂いた短冊の飾りつけも訓練内で行いました。お忙しい中、協力して下さい本当に有難う御座いました。皆さんの願いが叶いますように…



願いを風に乗せて！

夏の風物詩である風鈴も利用者に絵付けを行って頂き、飾りました。どの風鈴も个性的かつユーモア溢れる出来栄で、凄く完成度が高いと感じました。

訪れた方もおよそ100個の風鈴を見上げ、ひと時の涼を感じて頂けたと思います。

高い気温が続く中、皆さんの絵付けした風鈴の音を聴くと、暑い夏も乗り超えられそうです。



生活・訓練部
井上颯星

●●● 近森フェス ●●●

6月7日(金)に近森病院で開催された「近森フェス」に参加させていただきました。病院スタッフにもっともっと【ハビリのコト】【(は)春野のこと】【ハッピーになってもらうコト】の3つの(ハ)を知ってもらい、感じてもらうために野菜詰め放題イベントを実施しました。

このイベント開催にあたっては普段からお世話になっている春野の農家さんに協力をいただきました。この場を借りて改めて感謝いたします。

スーパーで見る野菜とは一味も二味も違う「野菜の魅力」と「値段」に大盛り上がりだったことは言うまでもありませんでした。来年も?乞うご期待あれ。



注:「すしざん〇い」ではありません。↑

副センター長 中越太一

防災訓練 ～「被害を最小限に・・・それぞれの力強い思い」～

水害が地震や火災と違うところは、防災気象情報や水位情報、雨量情報などである程度予測可能な部分があるところです。この事前情報をもとに避難をすれば少なくとも人的被害が最小限に抑えられます。

6月4日(火)に水害訓練を実施しました。内容は、情報収集伝達訓練や避難場所まで逃げるための移動訓練および避難誘導訓練です。利用者の移動に伴うリスクや避難にかかる時間を踏まえた実効性のあるものになっているかを検証しました。

この訓練で自分の役割を意識し、行動するために必要なことや大切なことは何かを考えるきっかけになったと思います。



災害対策委員会 柏木雷太

音楽療法 始めました。



機能訓練では、今年5月より音楽療法士の森岡先生をお招きし、月に2回の音楽療法を開始しました。対象は、失語症や構音障害で発語やコミュニケーションに難しさを感じていらっしゃる方5名を

スターティングメンバーとし、開始前にはそれぞれの利用者さんに“生活場面”における「目標」を考えて頂きました。利用者さんは、会話や交流を（意識的にも無意識的にも）少なく過ごされる方も多く、音楽療法を“気楽に声を出す場”として利用してもらい、これを一つのきっかけに生活におけるコミュニケーションの幅を広げたいと思ったからです。利用者さんからは「自分から質問や話し掛けができるようになる」「“おはよう”

と“お疲れさまでした”を一日に一回言う」など、ちょっと意識したらできそうかな、という目標を立てて取り組まれています。音楽が大好きな私も一緒に楽しんで参加しています。



生活・訓練部 土居文佳



技術と熱意が交差する アビリンピック 高知大会 2024



障害者の職業能力向上と雇用促進を目的として、今年もアビリンピックが開催されました。就労移行からは2名の方が出場され、オフィスアシスタント部門で銀賞、パソコン表計算B部門で銅賞をそれぞれ受賞されました。各競技とも共通して作業の速度や正確性を競い合うものですが、選手の皆さんの思いは「集中して頑張る、最後までやる、練習の成果を出し切る」とさまざまです。今大会を通してそれぞれの思いが、社会に参加する自信と誇りに昇華されるのが各選手の横顔を見て分かりました。

就労移行部 柏木雷太



暑かったけど 楽しすぎた 内ノ谷 夏祭り

7/28(日)に内ノ谷の天満宮夏祭りにハビリから、揚げたこ焼きとお子さん方が楽しむことができるおもちゃが景品のくじ引きを出店し参加させていただきました。とても暑かったのですが、体調不良等なく無事に



終わられたことと「美味しい!」「また買いに来た」とリピートされた揚げたこ焼き、「やったー!」と元気な声が聞こえたくじ引き共に完売することが出来て大満足の夏祭りになったと感じています。来年もまた参加したいと考えていますので是非参加していただけると嬉しいです。当日暑い中来てくださった利用者、職員、地域の方々ありがとうございました。



地域連携推進委員会 渡辺匠馬

ブレースチェックラウンドの取り組み

2023年度より委員会として、“ブレースチェックラウンド”を開始しました。目的は、利用者の方々が使用されている補装具（下肢装具、靴、車椅子等）・日常生活用具等（杖、歩行車等）が、安全に且つ正常機能を果たしながら使用できているかの確認を行い、安心して生活・仕事が行えるように施設全体で取り組みました。

今年度の対象利用者として、自立訓練とB型アルパーテ利用者の希望者の適合評価をさせていただいています。結果として、入所・自立訓練を利用されている方は、必要に応じて判定医療機関に繋ぐなど自立に向けた支援を行い、アルパーテ通所利用者は43名の下肢装具（靴）と歩行補助具の修正と1名の下肢装具判定医療機関を実施しました。

気づきとしては、物品の不具合や破損が生じていても、利用者自身の「気づきの弱さ」があったこと、気づいていても「その

物品に慣れている」ことで、問題として捉えられていない場面が多くあったことでした。加えて、2023年度は参加希望者のみとした為、介入が必要であろう利用者に支援が届かなかったことが課題と捉えています。来年度は、当委員会の取り組みの必要性を感じていただく声掛けを各事業のスタッフから行えるように、スタッフのスキルアップに取り組みたいと考えています。

生活・訓練部

田村亨介



利用者
さんの

ハビリ・ウェーブ

夢がふくらむ



私は数年前に重い病気にかかり、当たり前前の日常が当たり前ではなくなる瞬間もあるということをもって経験しました。現在は回復しておりますが、生きている限り懸命に頑張ろうと奮起し、今後はクリーニング国家資格取得や、趣味のスポーツ、そして家庭を持つという私自身の一番の夢を叶える為に頑張りたいと思います。

就労継続支援A型 スタッフ 公文健太



5月からハビリホームの月ユニットでお世話になっております。印刷科でお仕事を教えてもらって、初めは週3日の勤務でしたが今は週4日頑張っています。あこがれだったパソコンでのお仕事もあって気合が入ります。

黙々と静かに作業できる環境も好きです。

父の影響もあって、植物が好きなのですが、ハビリにはいろんな種類の植物がたくさん植わっていて、きれいな生け花で珍しい草花にも出会えて嬉しいです。

自販機も沢山あって選べるし、ご飯も美味しいし、自分の時間もあるし最高です。

私の目標は、ここで生活の練習をちゃんとして、ひとり立ちしてペット可の物件で、大好きな猫と一緒に暮らすことです。

これからも、少しずつたくさんの事を、自分のペースで頑張っていきたいと思います。

就労継続支援B型 利用者 山崎睦美

6/29、30 令和6年度 高知県障害者ピアサポーター養成研修

ピアとは、仲間・対等で自分の体験を活かして相談相手となり交流する事です。今回の研修では、ピアサポーターの体験談を聞いたり、コミュニケーションの基本を含めて5講義ありました。県内外の精神・身体障害者や福祉サービス事業所の職員や相談支援員がグループに分かれて講義で感じた事をお互いに話し合い、全体に発表し全員で共有する形でした。グループワークをするときは不安と緊張でいっぱいでしたが、今までの体験や経験を話すと皆が分かってくれて緊張が取れました。他の方の意見も聞いて色々な思いや考えがあると感じ勉強になりました。私は、ウェーブや私生活でも相談を受けたり話しかけられる事があるので、研修で学んだ「ピアサポーターのコミュニケーションの基本」を今後も活かしていきたいと思います。

OWNパス スタッフ
山本浩嗣



今年の夏は**暑**かった!

OWNパス納涼祭

8月21日、連日の暑さと日ごろの労をねぎらいOWNパスのスタッフと職員で納涼祭を開催しました。夏といえばBBQ、そのほかタコ焼き&餃子も、買い出しから準備まで全員で行いました。食後はスタッフからのアニメクイズや一人一怪談の本怖(ほんこわ)大会もあり、ギャグあり怖さありの夏ならではの楽しいひと時を過ごすことができました。

OWNパス 根木紀佳



電車で ボウリングへGO!

6/16(日)



今回は、電車という交通手段を知ることによって利用者の生活の幅が広がればと期待を込めて、路面電車に乗ってボウリングに行くことにしました。

電車に乗り乗車券を取るところから「おります」ボタンを押して料金を支払うまで初めての体験で皆ドキドキ!電車を降りて徒歩でラウンド1へ到着。ゲームが開始されると各グループごとに大きな笑い声が響き、ストライクやガーターなど一喜一憂していたようです。ボウリング後は自由なゲーム時間!帰りの電車賃を封筒に入れて渡していたにも関わらずゲームに使い込んでしまった利用者やボウリングスコアを水増ししている利用者がいたりプチトラブルがあったものの、楽しく貴重な時間を過ごすことができました。

マルチイベント委員会 森矢圭吾



テラスのお花

日差しがまぶしく日本の夏を感じる季節になってきました。ウェーブではテラスでハイビスカス(白色、黄色、赤色)サルビア、アメリカンブルー、ポーチュラカ等、沢山の種類の花を育てています。水を蒔き、夏の花をみることで、どのような花が育つのかウェーブで話題となっています。お花の水やり当番は立候補の方が多く「満開に咲くとどんな花になるんだろ～」と毎日挨拶とともに温かい会話も聞こえてきます。スウェル 坂上博子



近森学術集会



8月1日に開催された近森学術集会に参加しました。当日はとても緊張しましたが、職員のみなさんの温かい声かけもあり、無事発表を終えることができました。

発表では、ハビリの就労移行の利用を経て、近森病院へ就労が決まった利用者さんについて紹介させていただきました。利用者さんの就労に対する思いや強み、近森会の強い繋がりを活かして就労が果たされたことや、今後の継続した繋がりの必要性も実感しました。

今回の経験が、これからの就労支援のあり方にも良い方向に繋がるよう、精進していきたいと思えます。

就労移行部 廣田李々佳

GH世話人

趣味について



気の多い私は趣味も多種多様です。ピエロの置き物と骨董品の収集。金魚とメダカの飼育に園芸も。狭い庭にはクリスマスローズ、あじさいを始め多肉植物等ひしめき合っております。また、家の中には天井迄届きそうな柱サボテン（毎年大きな花をつけます）等サボテン類、観葉植物が溢れかえり、色々な趣味に囲まれています。近頃では何故か哀愁漂う容姿のピエロに特に引かれています。断捨離、断捨離と言われる現代、この始末どうすべきか頭を抱えている次第です。が、到底止められそうにありません。

就労継続・地域部

伊藤マサ子

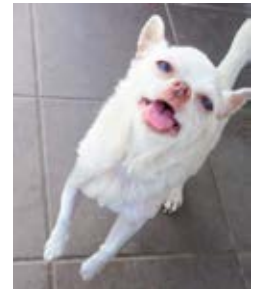
レ・ミゼイ

しっぽ家族のご紹介



私が実家を離れるまでの数年間、一緒に暮らしていたしっぽ家族のご紹介です。ワンちゃん猫ちゃん共に13歳以上のシニア期のおじいちゃんズなので最近諸々のケアが必要になっており健康を願うばかり……。猫ちゃんの方は諸事情により近々引き取ることを決意し、また一緒に暮らすのが楽しみです。これからもよろしくね！

生活・訓練部 濱田陽子



2024年 5年ぶりの夏～縦横夢人～

今年5年ぶりのよさこい出場に裏方として参加しました。灼熱炎天下の中、5年分のうっ憤を発散するかのようにエネルギーでパッションを感じさせてくれる踊りが私の胸を熱くしました。

法人本部 坂井知也



見覚えのある方も

よさこいに参加されていました！



ファミリークリーニング

バージョン UP

2009年から近森病院の看護部ユニフォームや入院中の患者様の衣類などの洗濯をさせていただいて今年で15年が経過します。当時から比べるとその量や種類も増え、今では利用者の『しごと』を支える大きな柱となっています。

2024年、看護部とリハ部のユニフォームのリニューアルに伴い、ついにネームラベルにQRコードが導入されました。これまでの手作業からハイテクへと変わり、作業の簡素化と効率化をはかることができ、作業負担も軽減できています。

私たちクリーニングが大切にしていること、それは単なる作業ではなく『しごと』として受けていること、『着る人をイメージして仕上げる』ことです。看護部スタッフ、リハ部スタッフの方々がより快適に仕事ができるよう、入院されている患者様が気持ちよく着替えができ治療に専念できるよう毎日思いを込めて仕上げています。それで

も時に破損や汚染、納品時間の遅延などで迷惑をお掛けすることもあるので同じことを繰り返さないよう日々工夫しながら今後も取り組みたいと思っています。

しごと・生活サポートセンター ウェーブ
センター長 沼 慶子

2種類のリーダーで工夫しています



**お預かり時のチェックには
置型タイプ**

両手でQRコードを確認したり、ポケットのチェックなどを行うため、置型が最適です！



**納品前のチェックには
ハンディタイプ**

ハンガーに掛けて仕上げを行うので、掛けたままスピーディに読み込むことができます！

リーダーで読み取った情報はパソコンに表示され保管することができます

季節の花

6月に花屋さんで偶然出会えた芍薬コーラルチャーム(半八重咲き)。コーラル(珊瑚)ピンクが何とも言えず可愛らしく。また来年の芍薬の時期をお楽しみに。
生け花担当職員 小松 香

芍薬コーラルチャーム(半八重咲き)、芍薬(白、八重咲き)、ナナカマド、トルコキキョウ、アジサイ、キノブラン、デルフィニウム、カンパニュラ



利用状況

ハビリテーリングセンター		・就労移行支援(定員6名)
○2024年8月の見学件数	3名
.....	12件	・就労定着支援..... 7名
○8月の1日あたりの平均利用者数 (小数点第二位以下は四捨五入)		はるのハビリホーム(定員36名)
自立訓練		・グループホーム..... 31名
・機能訓練(定員20名).....	23名	
・生活訓練(定員6名).....	7.1名	ウェーブ
生活介護(定員14名)		○2024年8月の見学件数
.....	9.7名	オウンパス.....
施設入所支援(定員40名)		スウェル.....
.....	33.7名	○8月の1日あたりの平均利用者数 (小数点第二位以下は四捨五入)
アルベータ		オウンパス(定員10名).....
・就労継続支援B型(定員40名)		スウェル(定員40名)...
.....	42名	

編集後記

7月3日に新紙幣が発行されました。紙幣に肖像が採用されたのが明治14年で、登場した人物は20人、一番多く登場したのは聖徳太子だそうです。そもそも肖像の採用は偽造防止が一番の理由だとか。一万円札は「渋沢栄一」になりましたが「福沢諭吉」が懐かしく感じる日常がすぐそこに迫っています。編集後記を書いていると、幼い頃を思い出すかのような懐かしいほっこりな気持ちになりました。
細川孝行